

調査研究課題	山梨県内に流通する食品中の無機物実態調査	
調査研究期間	平成22年度～平成23年度（2カ年）	
目的・目標	<p>無機物(重金属およびミネラル等)は、生命の維持に必須である。これら無機物の摂取起源は主に食事であり、食品を基にした無機物摂取量の把握は健康増進の観点からも重要である。</p> <p>当所では、食品に由来する無機物摂取量調査に関する研究を1981年から1999年まで行ってきたが、その後、行われていない。しかし、近年の食習慣の多様化や食品の嗜好性の変化、また、健康や食に対する関心の高まりなどから、食品に由来する無機物摂取量が変化している可能性が考えられる。</p> <p>そこで、本研究は、現在、県内で流通・販売されている食品由来の無機物摂取量を把握し、過去のデータおよび国民栄養調査等と比較することにより、摂取量の変化および特徴について検証する。</p>	
方法・計画	<p>1) 本県に流通・販売される食品由来の無機物摂取量を把握する。</p> <p>2) 過去のデータと比較し摂取量の変化およびその特徴を検証する。</p>	
総合評価点		4
総合評価コメント	<p>前回の調査からは10年経過しているため、食品に関する基本的な調査である本調査をおこなう意義を認める。</p> <p>県民の健康に関わる重要な調査である。</p> <p>科学的な視点の強化、毒性に関わる安全性の確認、重点的な調査が必要な項目等に配慮した調査・解析方法を検討することを期待する。</p>	
所の対応	<p>科学的な視点から、毒性に関わる安全性、重点的な調査が必要な項目等に配慮しつつ調査研究を進めていきたい。</p>	

5:優れている, 4:良好, 3:概ね良好, 2:部分的な見直しを要す, 1:全面的な見直しを要す